

運行管理者 基礎講習用テキスト

N A S V A

第13版（2016）

独立行政法人自動車事故対策機構

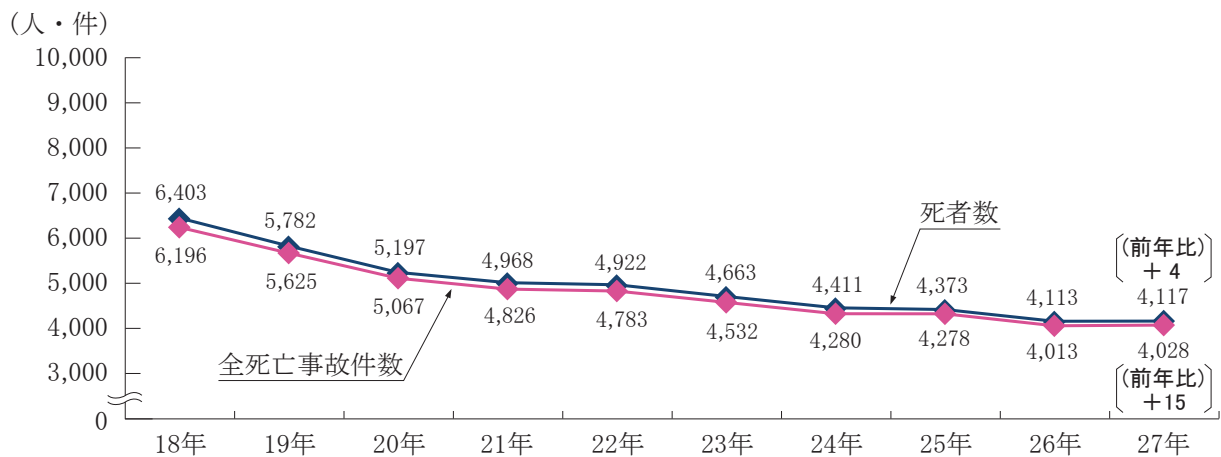
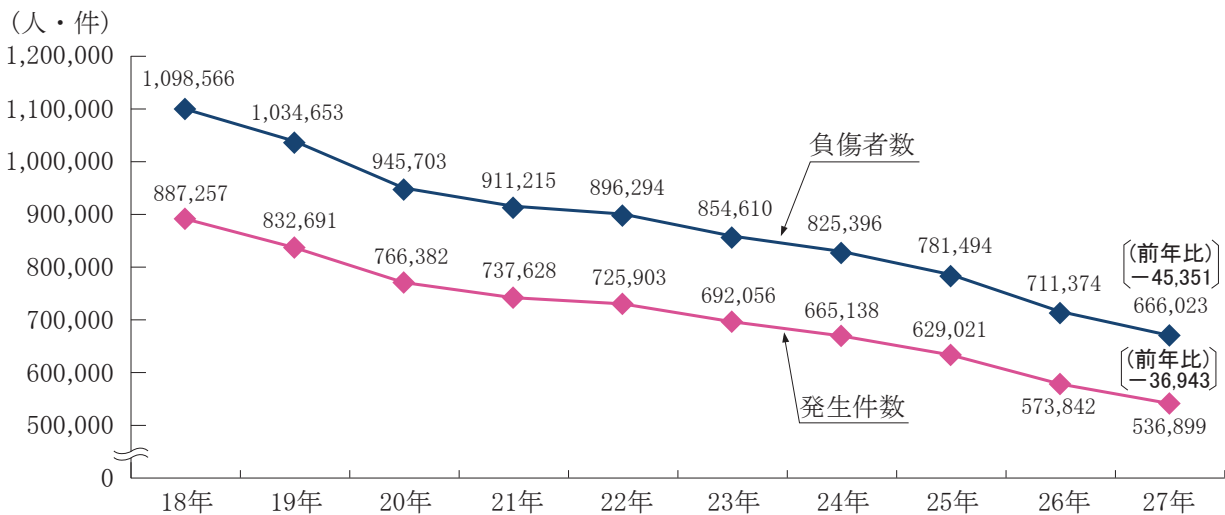
(2) 自動車運送事業を取り巻く社会環境

① 交通事故の発生状況

交通事故の発生状況を見ると、図1-1-1に示すとおり平成27年中の交通事故による死者数は、4,117人で前年と比べ4人増加しており、交通事故発生件数及び負傷者数は11年連続で減少している。

交通事故死者数については、15年ぶりに増加しており、交通事故死者数全体に占める65歳以上の高齢者の割合が高い水準で推移しているなど、交通事故情勢はいぜんとして厳しい状況にある。

図1-1-1 交通事故の発生状況



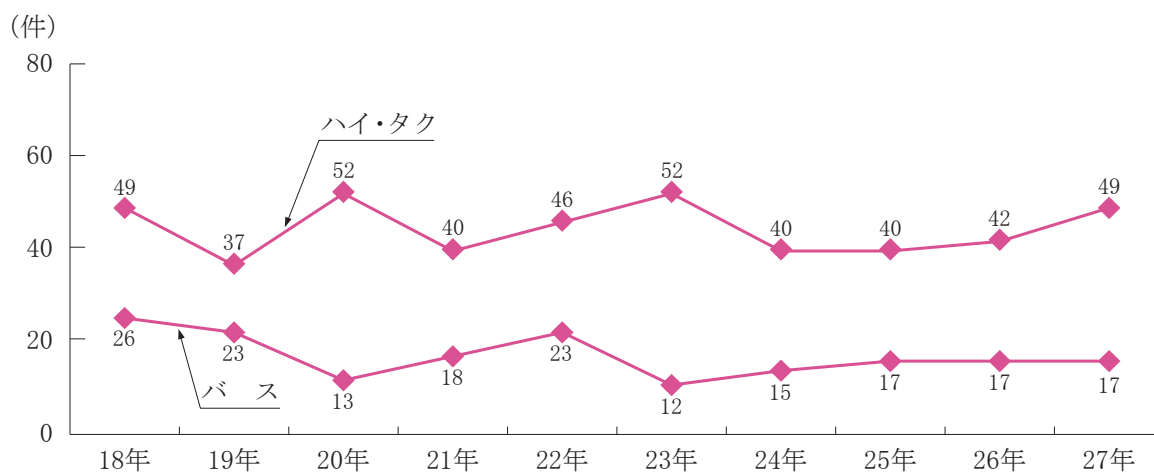
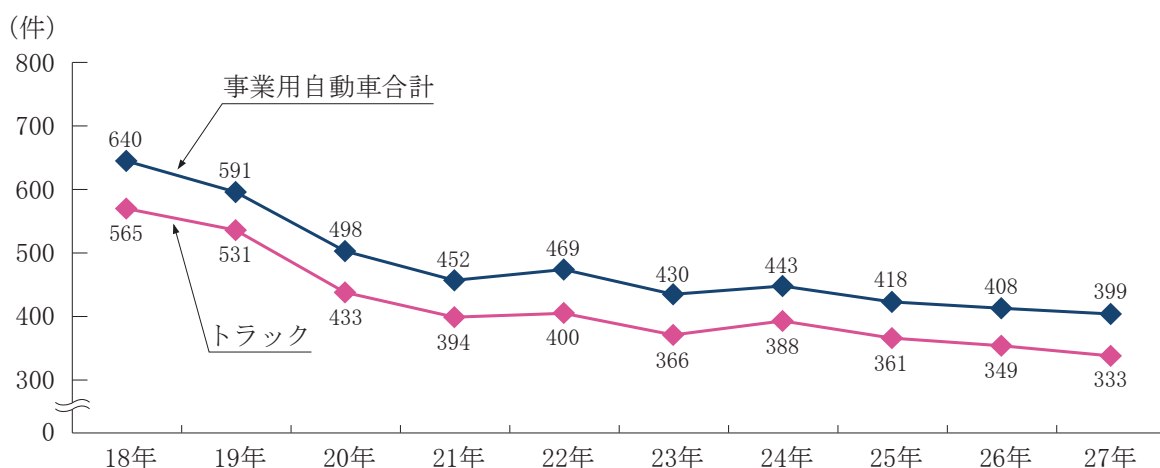
(データ出典：警察庁)

② 事業用自動車の交通事故発生状況（第一当事者）

平成27年中の事業用自動車第一当事者となった死亡事故件数は、399件（バス17件、ハイヤー・タクシー49件、トラック333件）となっています。

過去10年間の事業用自動車の死亡事故発生状況は、図1-1-2に示すとおり、トラックは緩やかな減少傾向となっており、バスとハイ・タクは年によって増減をくりかえし横ばいとなっています。

図1-1-2 事業用自動車の死亡事故発生状況



平成27年中の事業用自動車が第一当事者となった交通事故件数は、36,499件(バス1,772件、ハイヤー・タクシー14,902件、トラック19,825件)で、平成23年以降は全業態において減少傾向となっています。

過去10年間の事業用自動車の交通事故発生状況は、図1-1-3に示すとおり、トラックはここ5年間に於いて減少傾向、ハイ・タクは平成18年以降減少傾向、バスは平成19年以降減少傾向となっています。

図1-1-3 事業用自動車の交通事故発生状況

